

## 2-3 島の地形から生じた高山植物帯

ドンデン山荘でインストラクターから山頂効果や気候帯と植物についての話を聞き解説を受けながらドンデン山周辺を歩きます

### ■ドンデン山荘

両津港佐渡汽船ターミナルより車で約40分。ドンデン山荘は、佐渡ドンデン高原に位置し、大佐渡トレッキングコースのほぼ中間として、宿泊、食事、トレッキング情報提供などを行っています。佐渡ドンデン高原は、海拔900メートルながら、山頂効果により高山帯の植物であるシラネアオイ、シクナゲなどの高山植物をはじめユキワリソウやキクザキイチゲ・ザゼンソウなどが自生しています。山や植物にくわしいスタッフも揃っています。

所在地 新潟県佐渡市椿697番地

入館料 無料（案内料別途）

Tel : 0259-23-2161 Fax : 0259-23-2160

### ■トレッキング

インストラクターとともに、ドンデン山荘を中心に周辺のトレッキングコースを歩きます。

トレッキングをしながら、山の自然を体験するとともに、自然のもろさと、恐ろしさを感じ取ってもらいます。

山頂効果によって本州では標高1500メートル以上でなければ生えない高山植物が生えているなど、特徴的な自然景観があります。島の自然の不思議さを学ぶことができます。

高山帯は、植生が浅いため、植物を踏みつけたり、土を掘り返したりすることはいけないことです。また、草花や生きものを持ち帰ることはできません。トイレも、ドンデン山荘で済ませ、トレッキング中は携帯トイレによって水質を汚さないような工夫も必要です。もろい自然とのつきあい方を学びます。一方、ルートはずれないよう注意することも必要です。勝手に道を外れれば、すぐに深い山と谷によって自分がいるところが分からなくなります。また、夏でも天候が急変することもあります。自然を甘く見ると遭難するなど危険があること、特に山での行動は、それぞれの山のルールに従うことの大切さを学びます。

必要なもの：長袖シャツ（夏でも）、長ズボン、しっかりした靴、帽子、水筒、タオル、着替え。

所要時間：3時間～4時間

### ■山頂効果

植物は、気候との関係で、標高によって生えている種類が違います。例えば本州の中部地方の山では、500～700メートルのところではシイやカシなどの照葉樹林、700～1500メートルのところではブナやミズナラなどの夏緑樹林が広がり、1500メートルを超えると、高山植物が生えています。佐渡市までは、標高0～150メートルのところは照葉樹林、それより標高が高いところは基本的に夏緑樹林が広がっています。

佐渡島で一番高い山は大佐渡山地

にある金北山で、標高1172メートルです。ところが、本来は1500メートル以上の高いところに生えるはずの高山植物が、一番高いところでも1000メートルほどしかない大佐渡山地に、たくさん生えています。このような現象のことを「山頂効果」とよぶこともあります。なぜ植物がこのような生え方をしているのか、その原因はまだわかってません。

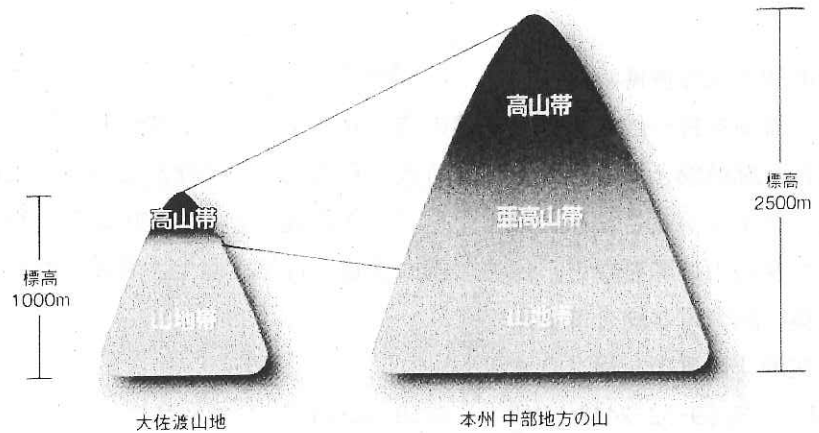
このことは佐渡島の植物の分布の特徴のひとつで、とても興味深いことなのです。

### ■ねらい

佐渡島の山の特徴は、クマ、イノシシ、サルが生息していないことです。このため、比較的安心してトレッキングを楽しむことができます。

また、コースも安定しており、はじめての山歩きを通じて、山の楽しさ、厳しさ、ルールを体験することができます。

山頂効果により、本州での1500メートル超級の山の風景になっていることも、感じ取りたいひとつです。



大佐渡の山頂効果